

2023年10月31日

各位

株式会社フジトランス コーポレーション

## 新造船「ふがく丸」進水

**CO<sub>2</sub>排出量 約30%削減**

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井辰夫）は10月31日、山口県下関市の三菱造船株式会社で内航 RORO 船「ふがく丸」の命名・進水式を行いました。



現在運航している2代目「ふがく丸」の代替船として建造を進めており、2024年春に就航する予定です。

フジトランスグループが持続可能な社会の形成に貢献するために策定した長期方針「フジトランス サステナビリティ ビジョン 2050」を基に、カーボンニュートラルに向けた「環境にやさしい船」を実現しており、国土交通省が運用している「内航船省エネルギー格付制度」で★★★★★の獲得を目指しています。

2代目「ふがく丸」と比べると、サイズアップや構造の工夫により積載能力を向上しつつも、CO<sub>2</sub>排出量は約30%削減を達成しています。また、船内は車輦区画、トレーラー区画合わせて8層あり、トレーラー区画は支柱を無くすことで、荷役効率の向上を図っています。

昨今モーダルシフトが推奨されるなか、当社自社船舶を活用していただけるよう、お客様のニーズにあった輸送能力、輸送体制で、さらなるサービスの拡充を図り、社会のインフラを支えて参ります。

**【ふがく丸 概要】**

**環境技術導入について**

環境技術① 垂直船首（推進抵抗低減） ※当社初

環境技術② 特殊船尾（推進抵抗低減） ※当社初

環境技術③ 煤煙飛散防止フィルター（港内での排気口からの煤煙飛散防止）

環境技術④ バルブ付きリアクション舵（推進抵抗低減）

環境技術⑤ 高効率5翼ピッチプロペラ（推進効率向上）

環境技術⑥ 低摩擦船底塗料（推進抵抗低減）

環境技術⑦ 電子制御主機関（エンジンの最適駆動制御による燃料消費低減）

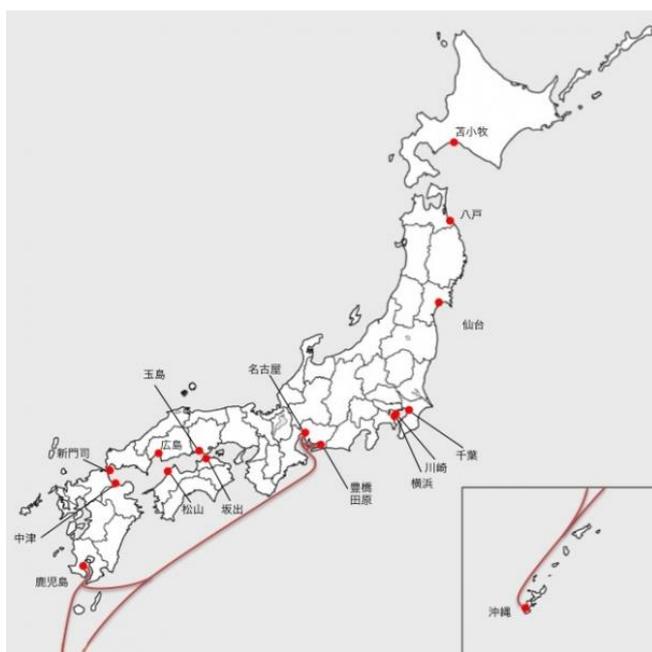
※三菱重工業㈱等の省エネ関連特許

**サイズ・能力について**

	総トン数	約 13,000 トン
	全長	165.0m
	航海速度	約 21.0 ノット
	積載能力	乗用車 1,500 台 +シャーシ 50 台

**航路について（予定）**

名古屋～豊橋～鹿児島～沖縄



ニュースリリースに掲載されている情報（事業内容、お問い合わせ先など）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。